

事務事業名		伊那谷自然資料調査研究事業			会計	一般会計	実施区分		
H28担当課等名		美術博物館		H28係等名	学芸係		H27係等名	学芸係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
		施策	61	地域資源の発見・資産化					
目的	対象(誰・何を)	1 伊那谷を中心とした自然			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	1 自然の中から収集した資料は、調査・整理し保存する				伊那谷(飯田下伊那および上伊那)の面積(平方キロメートル)		3277.47	
	向上させたい上位施策の成果指標	見出された地域資源の数(累計)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	年度内に収集した資料の数			300	230	300	-	
	成果指標	整理・登録した資料の総数(登録資料点数)			80188	82592	85592	-	
定性目標									
事業概要	<p>1 本事業は飯田市美術博物館において、伊那谷の自然に関する資料および情報の継続的な収集、整理、研究活動を行う。</p> <p>2 その中には、地域の自然を研究対象としている研究者への支援と成果を発表する印刷物発行事業を含む。</p> <p>3 コレクションを受入れ整理し、保存する。</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	<p>1 伊那谷の自然史に関する調査・研究、資料整理の実施。成果を企画展や教育普及活動で利用</p> <p>2 未整理未登録資料のマウントと登録、寄贈コレクションの整理登録の推進</p> <p>3 地域研究者(団体)への研究支援</p> <p>4 大学、研究所、学会等の研究機関と連携した研究の実施</p> <p>5 伊那谷自然史論集の発行</p> <p>6 学会大会等での研究発表</p>				<p>1 野外調査日数</p> <p>2 登録資料数</p> <p>3 地域史研究協力者(団体)数</p> <p>4 研究機関との連携数</p> <p>5 自然史論集掲載論文数</p> <p>6 学会等研究発表回数</p>			<p>1 94日</p> <p>2 5,404点</p> <p>3 6人(団体)</p> <p>4 5件</p> <p>5 6本</p> <p>6 10回</p>	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		8,426	8,786	8,339	6,993	(そ) 諸収入			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		491	450	450	300				
一般財源		7,935	8,336	7,889	6,693				
人件費計(千円)②		0		0					
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		8,426	8,786	8,339	6,993				
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成27年度は昨年度に引き続き、外部協力者の協力を得て資料の整理登録をおこなった結果、登録資料件数が目標の5倍となった。学会等での研究発表も精力的におこない、目標を上回る10回であった。								
改革改善の考え方	①問題点	慢性的な収蔵スペースの不足。展示や講座など教育普及活動への時間的ウェイトが大きい。常設展示の更新に向けた南アルプスなど山岳地帯での資料収集が必要である。							
	②改革提案	収蔵スペースの確保について、常設展示の更新も絡めて具体的な解決策を検討する。28年度以降3年計画で高山帯、亜高山帯の調査を地域史研究事業の中に位置づけ、重点的に調査をおこなう。また講座などの回数内容を見直し、適正化を図る。							